



MANZANAR

BUDDHIST CHURCH

CHURCH OFFICE
BLOCK 13 - 15

**MANZANAR
CALIFORNIA**

拝啓如何様店屋がヤ止まつてうりの貴様の現在の店境遇に對し不素は
莫大爲已難申上べ失禮を被内家赦下さる事は店屋族と離別の運命
に遭遇せざりて既に二年、空氣西北方に極れむ氣候、又が商人の中大
半不自由の生活を續けて事は大店旅の事も多々燃、生々、處心
焼失大店參一すと、余り多才す。本年も殊、幸運を蒙り、中々又者
少んとする時未だの年者、前年を個人の救へ度々之感を深くする
事と店業、半才す。然し、余は販賣日々解消され、あり生
才未だ支復の日未だ健在、第一無事に店業を以て
誠に種少で店舗居まつて此仲、未だ一日も、年者、店又難、
了して店送り半才す。店送り半才す。
今後、あさりても何不當力申りあつて、うち店遠慮、古之
店甲越え、二才す。而びに、於て自來の多くは何事か店送り皆
一才す。

白雲の折柳の自愛を乞ひて

一九四三年十二月十六日

マンボナ佛翁集

今
掌

拝候。如何かお體のやうも是うな、お夫人及お子様方の現在のお境遇
大對しお素は更に良ひお舞も中止せず失禮。彼の宿故トシヤマ戦争
の犠牲、萬國の犠牲とお言ひと離別の運命に遭遇致りて以系既に
二年。空官はお孫方を引き連れて西へ高麗焼水の氣氛假りからぬ人の
中に位々不自由な生活を續けて來られず。お夫人の心境紫大臣
病氣にて、余りあらず。本年も我室未だ去らるゝ事無又考れんと
おる。今日此頃、此う手の音を聴くと、三年の春、之日や何ぞすと紀二人、
當時の早朝新年を偲ばずする時、一大寂寥の感を深くされどお參
拜奉事。然て余は時より依て日々解ほり少くあるを、お咎めます。未だ
お悔のきの日まで健康第一主義で活遊トス。其瑞と安は弱い入院と
母は強し。お子様方、お妻共、お金を活盡トス。アリ。誠に難かで
お慮りすが、お仲益々佳く、年未満足舞のトス。と全一封
お聞封セタカタ。お笑納下さ。是後精神、筋肉死絶才ハ、アリ
也。今後何等ともお前程はお志願する所中越トス。トス。
勿寧モ折柳の歌旅、旅の自由度を乞して。 爰寧

昭和十八年十二月十六日

マンボ十仲翁